No. 1.

国家の成立

1961. 1. 16.
上山春平

I. エンゲルス『家族・私有・国家の起源』(1884)とモルガン『古代社会』(1877)

[エンゲルス]

第1章 先史時代の文化段階
第2章 家族
第3章 イロクォイ人の氏族
第5章 アテナイ国家の成立
第6章 ローマの氏族と国家
第7章 ケルト人とゲルマン人の氏族
第8章 ゲルマン人の国家形成
第9章 未開と文明

(N.B.) マルクス『資本制生産に先行する諸形態』(1850~58)

[モルガン]

第一篇 発明と発見による知力の発達(3章)
第1章 種族の発展段階(Ethnical Periods)
第2章 生活技術
第二篇 政治組織にかんする観念の発達(15章)
第1章 性を基礎とする社会の組織
第2章~第7章 [イロクォイを中心とするアメリカ原住民の氏族制度]
第8章~第10章 [ギリシャ人の氏族と国家]
第11章~第13章 [ローマ人の氏族と国家]
第14章 女系より男系へ
第三篇 家族にかんする観念の発達(6章)
第四篇 所有にかんする観念の発達(2章)

II. 「文化段階(Kulturstufen)」もしくは「種族発展段階(Ethnical Periods)」

1. 野蛮時代(Savagery)
   i) 前期
   ii) 中期
   iii) 後期
2. 未開時代(Barbarism)
   i) 前期
   ii) 中期
   iii) 後期
3. 文明時代(Civilization)

cf. 第1章(エ), 第1篇(モ).

III. 家族の諸形態(発展順序)

cf. 第2章(エ), 第3篇(モ).

1. 血縁家族(Consanguine Family) } ……野蛮時代
2. プナルア家族(Punaluan F.) }
3. 対偶婚家族(Syndyasmian F.) } ……未開時代 …… 氏族制度
4. 家父長制家族(Patriarchal F.) }
5. 単婚家族(Monogamian F.) …… 文明時代 …… 国家

IV. 国家成立の3形態(エンゲルス)

cf. 第9章(エ).

1. アテナイ型(内部発展型)
2. ゲルマン型(征服国家型)
3. ローマ型(混合型)

V. 国家の2特徴(エンゲルス)

cf. 第9章(エ).

1. 領域(Gebiet)による区分
2. 公的権力(öffentliche Gewalt)の制度

Kyoto University

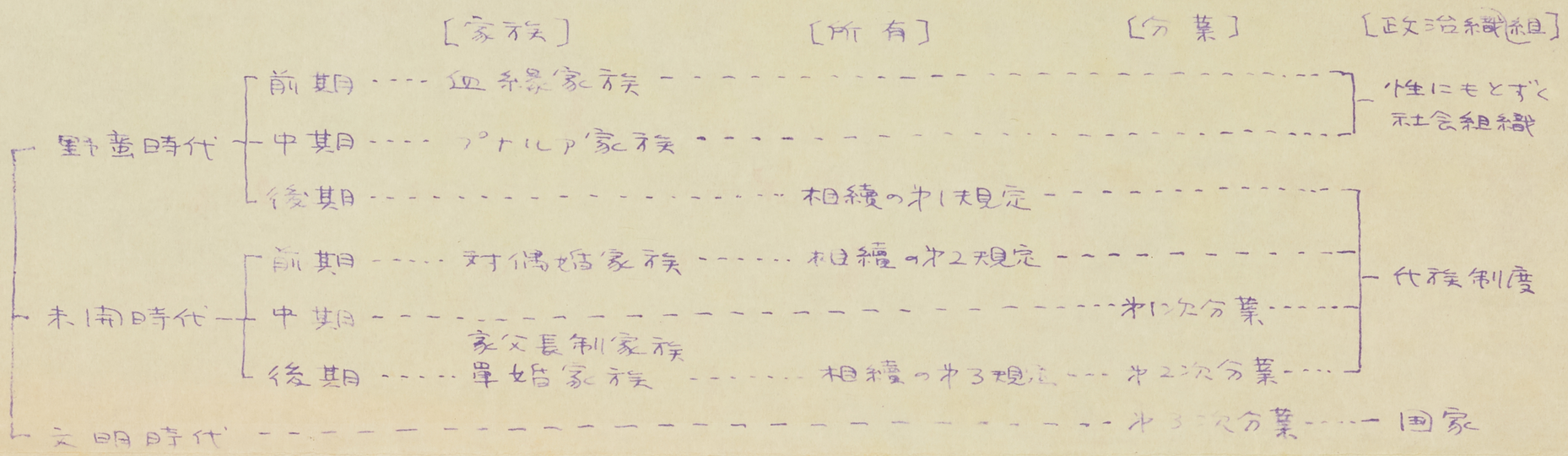
VI. 所有形態の発展（モルガン）　　Cf. 第4編（モ）.

1. 相續の第1規定 ---- 代族　　（野蛮後期）
2. 相續の第2規定 ---- 父系親族　（未開前期）
3. 相續の第3規定 ---- 子供　　（未開後期）

VII. 分業の発展（エンゲルス）　　Cf. 第9章（エ）.

1. 第一次分業 ---- 牧民と他の後進部族　（未開中期）
2. 第二次分業 ---- 農民と手工業者　（未開後期）
3. 第三次分業 ---- 商人階級の成立　（文明）

VIII. 家族・所有・分業・政治組織（モルガン，エンゲルス）



IX. 單層社会から重層社会へ

家族 ---- { 集団婚 → 單婚 ; 母系 → 父系 }

政治 ---- { 種族共同体 → 村落共同体 ; 代族制度 → 国家 }

経済 ---- { 共同所有 → 私的所有 ; 自給自足 → 交換 (分業) }

X. 社会編成の原理

單層社会 --- 血統別原理 ---- I ---------- 種族

重層社会 --- { 地域別原理 --- I, (II) ---- 土地 ; 職業別原理 --- (I), II ---- 資本 }

Kyoto University